



個人参加 動く市政教室  
「佐潟 de 潟舟体験」

実施日：令和2年7月24日（金・祝）

みなとぴあ・環境政策課・広聴相談課

目的

みなとぴあの学芸員が同行し、佐潟の歴史と舟を使った暮らしについて学ぶとともに、実際の乗船体験を通じて舟を使った潟端の生活文化の一端を実感します。

国内初のラムサール条約の湿地自治体認証の候補都市となった今年、ラムサール条約が奨励するワイズユースの一端に触れてみませんか。

見学コース

時間	分	見学施設	所在地
13:00		① 市役所分館 出発	
↓			
13:20		② 新潟駅南口バスロータリー 出発	
↓			
13:50~15:00	70	潟舟乗船体験（佐潟水鳥・湿地センター） 協力：佐潟と歩む赤塚の会	西区赤塚
↓			
15:20~15:40	20	西川水路橋と新川（市民遺産）	西区槇尾
↓			
16:00		解散：新潟駅南口 → 市役所の順	

	応募数	参加数
7月24日	40	9

# 参加者からの主な意見・感想

## 全体を通しての意見・感想

- ・初めて潟で舟に乗ることができた。
- ・潟舟に初めて乗り、佐潟の良さを一層実感した。
- ・潟舟体験は初めてで、潟際の生息植物やトンボなど観察できて良かった。
- ・雨の中、熱心に詳しく分かりやすく説明してもらった。
- ・説明を聞くことができ満足だ。
- ・いろいろなところに行けて満足した。
- ・新型コロナウイルス渦中での初開催。多少不安はあったが、バスの座席など配慮してもらい、ありがたかった。中身がギュッと詰まった、充実した学びの半日でした。

## 各施設の意見・感想

### 【潟舟体験（佐潟水鳥・湿地センター）】

- ・ハスがなくなったのが、とても残念だった。
- ・初めての潟舟、漕ぎ手の方の興味深い話を聞きながら、かつて潟は、住民にとって生活そのものだったと実感する事が出来た。
- ・小雨の中の乗船だったが、水辺の植物について、いろいろ質問に答えてもらい、特にヨシとガツボの見分け方を知ることのできたことが、大収穫だった。
- ・潟舟は気持ち良く、ずっと乗っていたかった。
- ・船上から見る景色は、センターから見る景色と違い、自然と一体となり、自然の素晴らしさを体験できた。
- ・船頭さんの説明が目の前で実感でき、潟の水が深い緑色でびっくりした。ハスやヒシが育たないのが心配だ。
- ・「潟普請」「ワイズユース」は小学校社会科または総合の教科で扱われるべきだと思う。

### 【西川水路橋と新川】

- ・参加しなければ、知る事も見る事もなかった川の立体交差を、見学出来て良かった。
- ・新川と西川の間隔を改めて確認することができた。
- ・水量も多く先人の苦労の様子が偲ばれた。
- ・最近の大雨災害のニュースを見るにつけ、先人の治水に対する努力に感謝です。
- ・市内に川が立体交差している場所があることを初めて知った。新川と西川の水位の違いで交わってはいけない理由も分かった。平島の水門に出る西川、内野漁港に出る新川と川沿いをサイクリングする私にとって地形的にも大変勉強になった。
- ・こんな不思議な川があることを知らなかった。
- ・全国的に見ても貴重な立体交差を、より分かりやすくおもしろく市民が身近に、そして自慢の歴史遺産として思えるようにアニメ化してほしい。

※いただいたご意見等は、広聴相談課でまとめて各見学施設や関係課・者へ伝えます。